

既習内容をもとに、一人一人が方法・準備物などの計画を立て、主体的な学習を進める。

野外観察の直接的な体験・観察により、情報収集する。

生徒一人一人の課題の結果が、本時の課題解決につながって、共に学ぶ喜びを感じる。

再度結果を確認したり疑問点を調べたり、深く自然を調べる活動を、コンピュータを活用して行う。

学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点
○ 自分の課題の設定	● 図式化されたものから自分の課題を設定し、共通課題との関連を意識させる。
3 調べる方法・準備物を考え、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ● 見分ける手がかりをもとにした自分の調べ方は ● 見分ける手がかりに応じた準備物は ● 見分ける手がかりは有効か 	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでの観察学習を想起させ、適した方法・準備物を考えさせる。 ● 自分の調べ方などについて、他の人の発表を聞き、比較、修正し、よりよい計画にさせる。
4 身近にある種子植物の観察を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べる植物の観察 (必要に応じて採取) ○ 手がかりによる植物のなかま分け <ul style="list-style-type: none"> ● 子葉の数・根・葉脈 ● 茎の維管束・花びらの数 	<ul style="list-style-type: none"> ● 友達の手がかりにも興味を持たせ、調べる方法が多数あることに気づかせる。 ● 生徒に成就感・達成感を持たせるよう支援に努める。
5 調べた結果を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ● 活用した手がかりは ● 手がかりをもとに調べた結果は ● なかま分けの名前は 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の調べた方法と比べさせる。 ● 一人一人の結果を生かして、全体のまとめに導く。 ● 例外はないか確認の問いかけをする。
6 植物検索ソフトの植物図鑑で、観察の結果を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ● 自分の調べた植物は ● 分類名は ● 他の人の植物は 	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコン、植物検索ソフトの使用により関心を深める。 ● まとめに、写真加工ソフトを活用し、植物写真資料を提示する。
7 理科レポートのまとめ・自己評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己評価をし、本時をふりかえさせる。
8 次時の課題を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 植物のなかま分け 	<ul style="list-style-type: none"> ● 種子をつくらない植物にふれる。